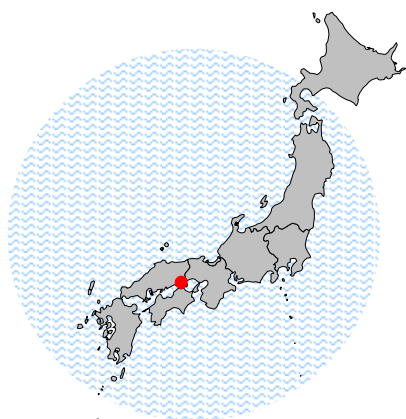


大多府漁港元禄防波堤

大多府島 (おたぶじま)



【場所】岡山県備前市
大多府漁港



島の人口:115人
島の面積:0.4 km²
(平成17年国調)

大多府島は、元禄11年(1698年)に岡山藩によって港が置かれ、諸藩の参勤交代の寄港地として賑わいました。大多府漁港に残る元禄防波堤は、現存する数少ない明治以前の港湾施設で、300年以上経過した今もなお現役で活躍し、島の人々の生活に根付いた役割を果たしています。防波堤は、岡山藩の土木技術者・津田永忠の指揮のもと、石工河内屋治兵衛によるものと推定され、二段に石を組んだ直立式石積の構造に、優美な三次元曲面(かまぼこ型)を有し、合端(石と石の接合部の表側に近い部分)は密着して藩校として建造された閑谷学校の石塀と同様、頑丈で美しい外観を呈しています。

写真上: 大多府漁港に残る元禄防波堤

写真右: 同上



問い合わせ先: 国土交通省都市・地域整備局離島振興課

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

TEL 代表 03-5253-8111(内 33-144) 直通 03-5253-8421